

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

岡山県 備前市

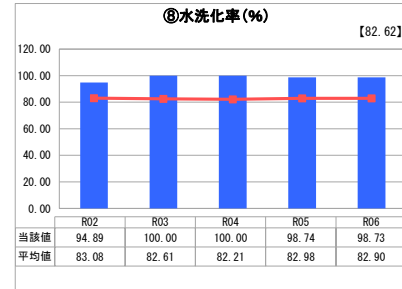
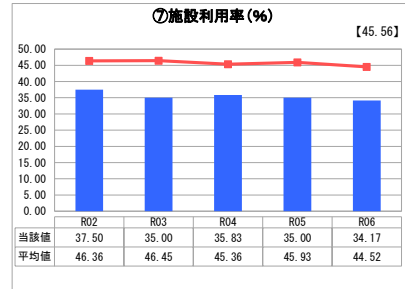
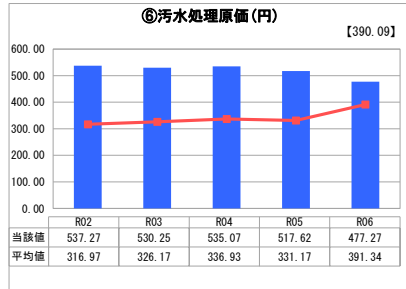
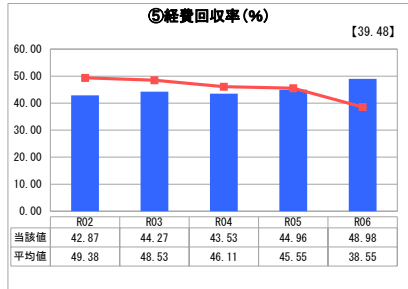
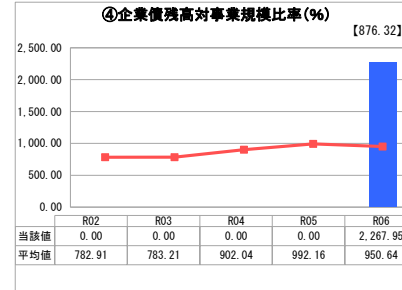
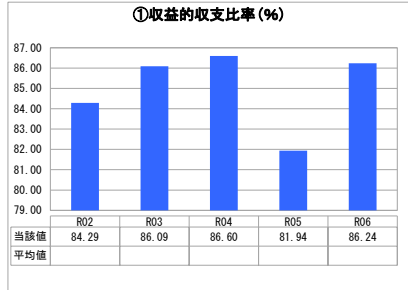
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	個別排水処理	L2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金 (円)
-	該当数値なし	0.51	100.00	3,872

人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
30,816	258.13	119.38
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
157	37.97	4.13

**グラフ凡例**

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率は、前年度に比べ改善したが、費用の減少によるものである。平成17年度に整備が完了しており、新規の受付もなく事業債の借入予定もないため、今後は事業債償還額の減少に伴って改善していくものと見込まれる。

②累積欠損金比率、③流動比率は、該当数値なし。

④企業債残高対事業規模比率の数値について訂正 R06 当該値 誤2267.95→正0.00  
企業債残高対事業規模比率は、全額が一般会計負担のため、指標数値なし。

⑤経費回収率は、若干改善した。類似団体平均値と比較し、やや低い水準で推移している。

⑥汚水処理原価は、類似団体平均値と比べて高い状況だが、運営内容に変更の予定がないため、今後も横ばいで推移すると見込まれる。

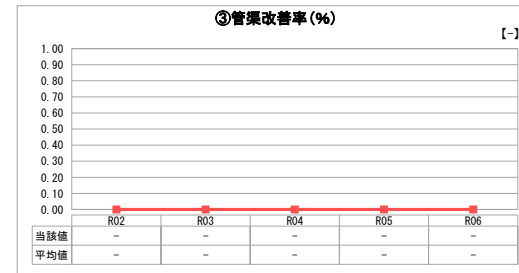
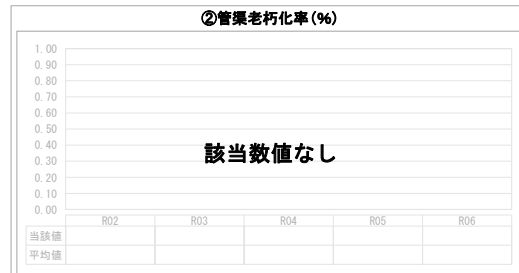
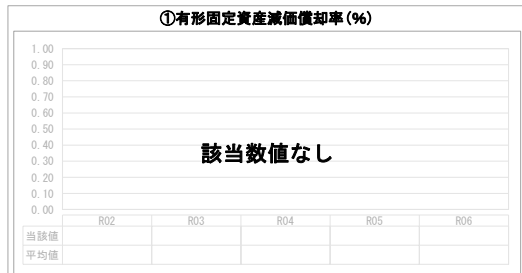
⑦施設利用率は、浄化槽の処理能力が各戸の延床面積で決まるため、居住者が少ないという地域的要因から改善は見込めない。

⑧水洗化率は、おおむね100%を達成しており良好である。

### 2. 老朽化の状況について

平成11年度から整備を開始し平成17年度に完了している。今後も施設の管理運営を行っていく。

## 2. 老朽化の状況



### 全体総括

健全経営を確保するためには、浄化槽の維持管理経費及び更新費用を使用料収入で賄うことが望ましいが、整備が完了し、新規受付をしていないことから今後も収益の増加は見込めず、一般会計繰入金に依存しながら事業を継続していくことになる。そのため、維持管理形態の見直しにより更なる経費削減が必要である。また、収入確保のために料金改定も視野に入れる必要があるが、公共下水道事業等と同額としているため、下水道事業と併せて検討していく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。